



## 平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 タキヒヨー株式会社

コード番号 9982 URL <http://www.takihyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝 茂夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役スタッフ部門統轄 (氏名) 武藤 篤

TEL 052-587-7111

四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	16,020	△4.4	254	10.2	453	50.6	227	69.8
22年2月期第1四半期	16,755	—	230	—	300	—	133	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	4.72	4.69
22年2月期第1四半期	2.68	2.67

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	42,764	28,089	65.5	580.87
22年2月期	44,642	27,785	62.1	574.54

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 28,010百万円 22年2月期 27,706百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	4.00	—	4.00	8.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	32,600	3.6	400	—	700	571.5	400	540.0	8.29
通期	70,300	2.1	1,280	83.0	1,660	38.7	1,000	74.4	20.74

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	49,500,000株	22年2月期	51,532,300株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	1,277,414株	22年2月期	3,308,434株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年2月期第1四半期	48,223,031株	22年2月期第1四半期	49,962,225株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア新興国の外需にけん引され改善の動きが見られるものの、世界的な株安や円高の進行もあり、緩やかな回復傾向にあります。また、国内市場は、政策的な消費喚起にもかかわらず、雇用不安定や所得低迷が影響して本格的な回復には至っておりません。

当社を取り巻く環境につきましても、消費者の生活防衛意識から買い控えの傾向が続いており、衣料品の販売は依然として厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、トレンドに対応した企画提案、販売先のニーズを先取りした商品企画により、マーケットシェアの拡大に努めてまいりました。

また、中国における生産基盤の充実や、高い品質と低コストのバランスの維持、販売ロスの排除と在庫回転率の向上、販売費及び一般管理費の削減に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16,020百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は254百万円（前年同四半期比10.2%増）、経常利益は453百万円（前年同四半期比50.6%増）、四半期純利益は227百万円（前年同四半期比69.8%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における事業の種類別セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (1) 繊維製品の製造販売関連事業

繊維製品の製造販売関連事業につきましては、衣料消費低迷や4月の天候不順の影響を受け、繊維事業全体の売上は前年同四半期と比べ低調に推移いたしました。販売費及び一般管理費の削減により、当セグメントの売上高は15,006百万円（前年同四半期比5.5%減）、営業利益は201百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

## (2) その他の事業

その他事業につきましては、合成樹脂原料の海外向け販売がアジア新興国の外需によって好調となり、当セグメントの売上高は1,013百万円（前年同四半期比15.0%増）、営業利益は49百万円（前年同四半期比91.1%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産

流動資産は、前連結会計年度末比1,853百万円減少し、21,386百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が1,623百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比25百万円減少し、21,377百万円となりました。これは主として、減価償却累計額の増加により有形固定資産が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末比1,878百万円減少し、42,764百万円となりました。

## (2) 負債

負債は、前連結会計年度末比2,182百万円減少し、14,674百万円となりました。これは主として、短期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金が2,673百万円、未払金が464百万円減少したことによるものであります。

## (3) 純資産

純資産は、前連結会計年度末比304百万円増加し、28,089百万円となりました。これは主として、評価・換算差額等が増加したことなどによるものであります。

## (4) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、587百万円(19.8%)減少の2,378百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は、税金等調整前四半期純利益が338百万円となったことに加えて、売上債権が1,624百万円減少する一方で、仕入債務が2,674百万円減少したことにより、全体では1,091百万円となりました(前年同四半期は30百万円の増加)。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、有形固定資産の取得による支出85百万円などにより、全体では81百万円となり、前年同四半期と比較して3,959百万円(98.0%)の減少となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は、配当金の支払額が195百万円となった一方で、借入金の増加による収入が780百万円となったことなどにより、全体では584百万円となり、前年同四半期と比較して2,777百万円(82.6%)の減少となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年4月9日公表時から変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目の算定については、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

また、重要性が乏しく経営環境に著しい変化が発生していない連結子会社は、税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,449	3,006
受取手形及び売掛金	14,910	16,534
商品及び製品	3,417	3,119
仕掛品	5	30
原材料及び貯蔵品	13	15
その他	611	557
貸倒引当金	△21	△23
流動資産合計	21,386	23,239
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,105	12,105
その他	5,782	5,841
減価償却累計額	△2,738	△2,760
その他(純額)	3,044	3,081
有形固定資産合計	15,149	15,186
無形固定資産	83	89
投資その他の資産		
投資有価証券	4,941	4,858
その他	1,536	1,607
貸倒引当金	△334	△339
投資その他の資産合計	6,143	6,126
固定資産合計	21,377	21,402
資産合計	42,764	44,642
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,848	9,521
短期借入金	2,410	1,530
1年内返済予定の長期借入金	400	400
未払法人税等	177	209
引当金	286	180
その他	2,088	2,486
流動負債合計	12,210	14,327
固定負債		
長期借入金	1,400	1,500
引当金	728	698
その他	334	331
固定負債合計	2,463	2,529
負債合計	14,674	16,857

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,622	3,622
資本剰余金	4,148	4,148
利益剰余金	21,204	22,098
自己株式	△583	△1,512
株主資本合計	28,391	28,357
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△130	△286
繰延ヘッジ損益	93	△21
土地再評価差額金	△262	△260
為替換算調整勘定	△81	△82
評価・換算差額等合計	△380	△651
新株予約権	79	79
純資産合計	28,089	27,785
負債純資産合計	42,764	44,642

(2) 四半期連結損益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	16,755	16,020
売上原価	13,023	12,485
売上総利益	3,732	3,535
返品調整引当金繰入額	△13	△6
差引売上総利益	3,745	3,541
販売費及び一般管理費	3,514	3,286
営業利益	230	254
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	27	23
負ののれん償却額	2	—
不動産賃貸料	26	32
為替差益	—	142
その他	48	29
営業外収益合計	107	230
営業外費用		
支払利息	20	16
不動産賃貸費用	—	11
その他	16	3
営業外費用合計	37	31
経常利益	300	453
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8	7
リース会計基準の適用に伴う影響額	10	—
株式割当益	—	14
その他	0	1
特別利益合計	18	23
特別損失		
投資有価証券評価損	—	127
事業所移転損失引当金繰入額	110	—
その他	3	11
特別損失合計	113	138
税金等調整前四半期純利益	205	338
法人税等	133	110
少数株主損失(△)	△61	—
四半期純利益	133	227



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	205	338
減価償却費	62	65
負ののれん償却額	△2	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8	△7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	127	112
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△13	△6
事業所移転損失引当金の増減額 (△は減少)	110	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33	30
受取利息及び受取配当金	△29	△24
支払利息	20	16
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△0
有形固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	127
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	6
リース会計基準の適用に伴う影響額	△10	—
株式割当益	—	△14
売上債権の増減額 (△は増加)	3,380	1,624
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△306	△271
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,052	△2,674
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△61	70
その他の資産の増減額 (△は増加)	△63	55
その他の負債の増減額 (△は減少)	△153	△388
その他	33	7
小計	276	△933
利息及び配当金の受取額	29	22
利息の支払額	△19	△13
法人税等の支払額	△256	△167
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>30</b>	<b>△1,091</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△80	△70
定期預金の払戻による収入	50	40
有形固定資産の取得による支出	△3,990	△85
投資有価証券の売却による収入	6	0
投資有価証券の償還による収入	—	34
投資有価証券持分の回収による収入	1	1
子会社株式の取得による支出	△21	—
貸付けによる支出	△32	△12
貸付金の回収による収入	26	11
出資金の回収による収入	0	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,041</b>	<b>△81</b>

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,660	880
長期借入金の返済による支出	—	△100
配当金の支払額	△200	△195
自己株式の取得による支出	△97	△0
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,362	584
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△625	△587
現金及び現金同等物の期首残高	3,686	2,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,060	2,378

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)				
	繊維製品の製造 販売関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,873	882	16,755	—	16,755
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	371	371	(371)	—
計	15,873	1,253	17,126	(371)	16,755
営業利益	199	26	225	5	230

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)				
	繊維製品の製造 販売関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,006	1,013	16,020	—	16,020
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	377	377	(377)	—
計	15,006	1,391	16,397	(377)	16,020
営業利益	201	49	250	3	254

(注) 1. 事業区分は、製品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、繊維製品の製造販売関連事業、その他の事業に区分しております。

2. 各事業の主要な製品

(1) 繊維製品の製造販売関連事業

アパレル……………婦人服・婦人洋品、子供洋品・ベビー服、紳士洋品、  
ホームウェア・インテリア

テキスタイル……………服地

(2) その他の事業

合成樹脂……………合成樹脂原料(レジン)、樹脂フィルム

産業資材……………産業用繊維、家具、自動車部品

物流事業……………商品物流関連事業

賃貸事業……………事務機器等のリース、不動産の賃貸管理

**【所在地別セグメント情報】**

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

**【海外売上高】**

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間において、海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。